

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十七年
十一月

こなり組

隣り組といふものは、時局以來の最もいゝ生活の一つです。御近所に住んでゐながらも、お互同志何んの協同もなく、知りあひさへないといふことは、人間生活として餘りにも殺風景以外、奇怪極まることです。隣り組はそれを人間の世の中らしいものにした上に、それから起る生活上の利益も大きいものです。わけても、子どもの生活にとつて、近所といふものが與へられたこと、その結果、護られることにも、教へられることにも、誠に都合のいゝ便宜が多く與へられるやうになりました。

これは住んである地域によつての隣り組です。その精神を採り入れて、幼稚園でも、同じ組の子どもといふことを縁にした隣り組があつてよさそうです。子ども達は、しつかりお互同志の生活を毎日楽しんでゐるのです。その親同志も、お互同志の結びつきがある方が自然でもありません。たと自然ばかりでなく、子どもを中心として話しあひ、或は何彼と助けあふこと、いろ／＼と楽しさもあり利益もあることでせう。幼稚園を信頼し、先生を信頼し、それを中心として互にいつしよになつてはゐるものゝ、我子の友達の親を、互に頼と知らないといふのは、考へてみれば變なことでないでせうか。子ども同志あんなに親しいのに。

幼稚園から

○厚着警戒の警報を出すことの必要な時が來ました。或はもう手遅れかも知れませんが、少くも此の月にやり損つたらば、一寸やり直しがむづかしいでせう。充分よく氣をつけて下さい。

○注意は大切ですが、けさは冷いとはかり、着物を重ねてゆくだけなら、責任よけの注意に過ぎません。そこをもう一つ寒さに勝たせる注意こそ、責任を以てする注意です。それは我子に就て一番の責任をもつ、お母さんだけに出来ることで、お母さんのしなければならぬ積極的注意といふものです。

○それにしても、十一月小春日和だといふのに、ぽて／＼と厚い重ね着で、うん／＼いはされてゐる子の、何んど多いことでせう。日あたりのいゝ庭へ遊びによこしながら、この位注意の足りない、母の無責任がありませんか。